

青春はいつも、
ホロ苦い



旅立ちの汽笛

2001年カンヌ国際映画祭〈ある視点〉部門正式出品 2001年東京国際映画祭コンペティション部門正式出品
アクタン・アブディカリコフ監督&ミルラン・アブディカリコフ主演作品

キルギスの小さな村から、少年は大人への列車に乗って旅立つ。



監督◎アクタン・アブディカリコフ 脚本◎アクタン・アブディカリコフ、アヴタンディル・アディクロフ、トニーノ・グエラ 撮影◎ハッサン・キディラリエフ 音楽◎アレキサンダー・ユルタエフ
キャスト◎ミルラン・アブディカリコフ、セルゲイ・ゴロフキン、スィリキシー・ザキポフ、アレキサンドラ・ミトロキーナ 製作◎ゾエ・プロダクション+スタジオ・ベシュケンビール+ビターズ・エンド
2001年/フランス=キルギス=日本共同製作/35mm/カラー/90min/1:1.66/ドルビー-SRD/МАЙМЫЛ(原題)/THE CHIMP(英題) 配給◎ビターズ・エンド www.bitters.co.jp/tabi

The chimp

旅立ちの汽笛

2002年フェストロイア国際映画祭「銀のいるか」賞受賞 2001年カンヌ国際映画祭ある視点部門正式出品
 2001年東京国際映画祭コンペティション部門正式出品 アクタン・アブディカリコフ監督&ミルラン・アブディカリコフ主演
 製作/ノエ・プロダクション+スタジオ・ベシケン・ピール+ピターズ・エンド 2001年/フランス=キルギス=日本共同製作
 35ミリ/カラー/90分/1:1.66/ドルビーSRD 配給:ピターズ・エンド www.bitters.co.jp/tabii

美しい自然と
懐かしさが同居する国、
キルギス

91年ソ連邦が崩壊し、独立を宣言してから10年余りのキルギス共和国。標高5000メートルを越える天山山脈のふもとに広がる山岳と草原の国は、その風光明媚な土地から「中央アジアのスイス」と呼ばれています。かつて、アジアとヨーロッパを結ぶシルクロードの一地点として栄え、様々な国の人々の往来があったこの地帯。その影響は今も色濃く残り、本作には、少年チンプのような、日本人とよく似た顔つきの人々をはじめ、髪、肌、目の色の違う人種がごく普通にひとつの村に暮らしている状況を映し出しています。

アクタン&ミルラン
親子が紡ぐ、
少年時代の
大切な思い出

常に少年時代の「記憶のかけら」を作品に紡いできた監督。そんな父親の少年時代を演じてきた息子ミルラン。映画の中の主人公の成長とともに、ミルランも成長してゆくという、奇蹟のような三部作が、ついに完成しました。

「ブランコ」
(93年/モノクロ/中篇)

ミルラン10歳
子供時代



「あの娘と
自転車に乗って」
(98年/モノクロ&カラー)

ミルラン15歳
思春期



「旅立ちの汽笛」
(01年/カラー)

ミルラン17歳
青春時代



「あの娘と自転車に乗って」
DVD 8/23発売 ¥4,700(税別)
販売:エースデュースエンタテインメント
tel.03-3407-4150

「旅立ちの汽笛」は、キルギスの雄大な自然の中、17歳の少年が、初恋や友情、父親との葛藤



を経て、故郷の村を立ち、ゆるやかに大人へと成長してゆく様を描きます。大好きな女の子への届かぬ想い、父親への反抗心、何もできない自分に苛立ちを覚えた青春のやるせない日々…。時代が変わっても、住む国は違っても、青春時代は誰にとっても特別な時間。困難を乗り越え、勇気を持って未知の世界へと旅立つ少年チンプの姿は、きっとあなたに、純粋で一途だったころの懐かしい青春の日々を呼び起こしてくれることでしょう。

陽だまりの国キルギスから届いた、珠玉の青春映画
 煙を上げて列車が走る、山間の小さな村。耳が猿のように大きいので仲間たちから「チンプ」というあだ名で呼ばれている少年は、この村で生まれ育ち、17歳になった今、鉄道の仕事を手伝いながら仲間たちと兵役前のひとときを大いに楽しんでた。タバコにお酒、バイクにギター、そして何より一番の関心事は女の子。ちょっと奥手のチンプにも遠くから想いを馳せる少女ウイカがいた。真夏の夜の告白。パーティー、初めてのキス、不器用な愛の告白…。浮き足立った毎日に、胸の鼓動は高鳴るばかり。しかし家では、父親が酒に溺れ、しびれを切らした母親はついに妹を連れて、村を出てゆくのだ…。



風にゆれるポプラの木の花のざわめき、陽に灼けた土の匂い、線路わきに咲く花の香り。スクリーンには、日本の一地方を思わせるような、キルギスの原風景とともに、画家を目指していたアブディカリコフ監督ならではの詩的で、抒情的な世界が広がります。また多感な少年の心の機微を表すかのように、画面に寄り添う音楽も、風の音や河の音など自然の音を生かしながら、ビートの効いたダンスナンバーからオーケストラを使ったシンフォニーまで、多様に変わってゆきます。



プロデューサーには本年度アカデミー外国語映画賞を受賞した「ノー・マンズ・ランド」のエドミール・コラル。世界中の優れた才能を、国境を超えて結びつける彼の手腕により、脚本には、フェリーニ、アントニオニーニ、アンゲロ・プロスなど巨匠の作品を数多く手がけるペテラン、トニーノ・グエッラが参加。作品に深みを与えることに成功しています。フランス、日本といった海外との共同作業によって夢のカラーバージョンが実現しました。

風を経て、故郷の村を立ち、ゆるやかに大人へと成長してゆく様を描きます。大好きな女の子への届かぬ想い、父親への反抗心、何もできない自分に苛立ちを覚えた青春のやるせない日々…。時代が変わっても、住む国は違っても、青春時代は誰にとっても特別な時間。困難を乗り越え、勇気を持って未知の世界へと旅立つ少年チンプの姿は、きっとあなたに、純粋で一途だったころの懐かしい青春の日々を呼び起こしてくれることでしょう。

風にゆれるポプラの木の花のざわめき、陽に灼けた土の匂い、線路わきに咲く花の香り。スクリーンには、日本の一地方を思わせるような、キルギスの原風景とともに、画家を目指していたアブディカリコフ監督ならではの詩的で、抒情的な世界が広がります。また多感な少年の心の機微を表すかのように、画面に寄り添う音楽も、風の音や河の音など自然の音を生かしながら、ビートの効いたダンスナンバーからオーケストラを使ったシンフォニーまで、多様に変わってゆきます。

父親と息子が共に過ごす
「青春時代」その幸福なる時間

素朴でたくましい少年チンプを演じるのは、アブディカリコフ監督の実の息子ミルラン。同じ「チンプ」というあだ名で呼ばれていた父親の、青春時代の体験や思い出、感情といった様々な記憶を見事に体現してゆきます。「映画を通して、父をより深く理解できるようになった」と語るミルランは、現在20歳。父と子の絆は、監督と役者として共に作品を作り上げる中で、強く、固く結ばれました。

楽しくて、切なくて、哀しくて、嬉しくて……
 青春時代の甘酸っぱくて、ホロ苦い思い出の数々を
 あなたは、いくつ覚えていますか？
 思春期の少年の日常をみずみずしく描き、世界中の人々を至福の感動で包み込んだ『あの娘と自転車に乗って』から2年。アクタン・アブディカリコフ監督、
 待望の最新作『旅立ちの汽笛』が、キルギスから届きました。



12月7日(土)より待望のモーニングショー!!(12/20(金)まで)

連日あさ10:15~1回上映(終映 11:50予定)

特別前売鑑賞券 ¥1500 絶賛発売中!(当日一般 ¥1800の処)

●本編開映後のご入場はご遠慮ください。

●火曜日 男性の方/水曜日 女性の方 ¥1000にてご覧いただけます。

梅田ロフトB1 06(6359)1080

テアトル梅田

http://www.cinemaplex.com/